

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 2 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 19 事業・取組名 小・中ジョイントスクール推進事業	
質問	・自己評価 b は、なぜこの評価なのか教えてください。どうなれば、a と評価するのでしょうか。
回答	<p>担当課：教育指導課</p> <p>本事業は、各中学校区の小学校と中学校が連携し、家庭・地域社会とともに、義務教育 9 年間の子どもの学びと成長の連続性を図り、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む質の高い教育（授業）を保証することをねらいとし、平成 16 年度より取り組んでいるものであります。</p> <p>例年、各中学校区では、児童生徒の課題に基づいた重点指導項目を設定して共通して取り組んだり、教職員による授業の相互参観や児童生徒の交流を行ったりしております。</p> <p>令和 2 年度からは、児童生徒の実情を踏まえて、「安全・安心で魅力ある学校づくり」における「授業づくり」「居場所づくり」「絆づくり」の視点で、各中学校区での取組を充実・改善していく予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、教職員や児童生徒の人的交流が制限されたことから、各学校では計画の見直しを余儀なくされた次第です。</p> <p>自己評価につきましては、各学校アンケートや学校訪問での聞き取りに基づき、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されたものの、人的交流の代替措置としてビデオメッセージを活用するなどの工夫をしながら小中連携に努めていることから、「b（概ね順調に進んでいる）」と判断いたしました。</p> <p>今後の自己評価につきましては、新型コロナウイルス感染症の終息に伴い児童生徒の交流を含めた通常の教育活動が可能となり、「安全・安心で魅力ある学校づくり」の視点で、各中学校での取組の充実・改善が見られた際には、「a（順調に進んでいる）」と判断することも考えられます。</p>